

ニホンザリガニの博物学的知見VI

—公文書から得られた情報—

川井唯史¹⁾・白濱和彦²⁾¹⁾ 稚内水産試験場 〒097-0001 稚内市末広4-5-15²⁾ 〒047-0154 小樽市朝里川温泉1-306

はじめに

ニホンザリガニ *Cambaroides japonicus* は離島を含む北海道全域と東北地方の北部の広い範囲に分布する日本固有種であり、全長は5cm程で一生を淡水域で過ごし、近年は生息地数の減少から各行政機関から希少な種としての指定を受けている (Kawai and Labay, 2011). 本種の体内には、乳白色で、球形を呈して径数ミリで、主成分が炭酸カルシウムの結石が形成され、江戸時代は薬として利用され輸出もされていた (Kawai and Fitzpatrick, 2004).

本種における歴史的な史料を元に得られた知見としては、江戸時代から明治時代にかけての名称、利用方法等である (川井・白濱, 2008, 2011). 本調査では、江戸時代の御用留や開拓使の公文書を始めとした公的機関による史料を調査し、ニホンザリガニの博物学的な知見を加えた.

調査方法

2008～2012年にかけて、北海道立文書館、北海道立図書館に所蔵されていた御用留等の史料を調査した.

調査結果

以下の史料が得られた. また必要に応じて文書でニホンザリガニに関して記述されていた部分を活字化し、一部はふりがなを入れた.

・簿書番号：A00028/12155 (00028) 「在住御雇御用所 安政四丁巳年六月より白主御用所」(1859年)

文書番号：No.42 「大熊文鳥犀角ほか高価薬品願受の件 (安政6, 3)」(1859年)

「ワクリカンキリ 五両」の記述があり、当時のザリガニの名称が分かる (図1A).

文書番号：No.78 「大熊文叔留守中同人厄介田中秀平治療に付伺 (文久1, 2)」

「薬名」の項目に「蝸蝓石」の名称があり、当時のザリガニの名称が分かる (図1B).

・簿書番号：F1/1048 「御用留 安政四巳年三月箱館奉行所 蝦夷地掛」安政3-4 (1856～1857) 原本所蔵 札幌学院大学 (図2).

以下、活字化した.

聊心いんしんを用ひ候得者もち天晴そらあは之産物あつづニ相成可申あいな尤順気なりもちすべし
ニ随ひカラムシか者性な之強弱ちやうじやく者有之哉あニ候得共もち
製かし方なニ寄可也よ無用な以多須おほ遍ひらく候間追々ま
相製候様可取計候且又鹿茸かワクリ
カンキリ等者とら薬種之内最専要之品ニ付精々から
取集候様可致別而ワクリカンキリ者近年唐から
渡り無之諸向わたら底之折柄ニ付自然御用尔者しぜんごようじ

「ワクリカンキリ」と書かれており、当時のザリガニの名称が分かる. なお御用留とは江戸時代の末期に箱館奉行所や御用所が出した法令 (達, 廻状) 等の公文書を記録した帳簿であり、幕府の出先機関である箱館奉行所が蝦夷地を統治する上で重要であった.

・簿書番号：00014 「蝦夷地 御用留 三 御用所 安政四丁巳年五月 御用所 紋別御用所 箱館奉行所」

文書「御用所においてい紫根・カムラシ・薬草 そのほか採取の件 (安政4, 2)」(1857年) (図

3). 以下, 活字化した.

かなりべんよう たすべ あいだあいあいせいしそろうよりほからうべくそろう
 可也弁用い多須遍く間追々相製候様可取計候
かつまたるくじよう
 且又鹿茸茸鹿ヲクリカンキリ等者葉
しゆかう ちちつとせれようのしなにつませいぜいとらあつめせうろうよういたすべく
 種之内最専要之品ニ付精々取集候様可致
べつして もくりかんきりしや からわたりにこれなくしよもき
 別而ヲクリカンキリ者近年唐渡無之諸向
これあるべくあいだ
 弘底之折柄に付自然御用も可有之間
かならずもつてたくわいせきそろうよういたす
 必以貯置候様致度事ニ付能々相心得右之
 品々有之候場所於み天可成丈出精取集

「ヲクリカンキリ」とかかれており, 当時のザリガニの名称が分かる. なお箱館奉行所とは南下政策をとるロシアの脅威に対抗して享和2年(1802年)に設置された江戸幕府の役所である. その後の嘉永6年(1853年)にペリー艦隊が浦賀に来航し, 翌年には日米和親条約が締結され, 箱館が開港され, 箱館奉行所の主な任務は開港に伴う諸外国との応接(外交交渉), 蝦夷地の海岸防備, 箱館を中心とした蝦夷地の統治であった. 奉行所は嘉永7年(1854年)に再配置され, 建物は外堀となる五稜郭と共に元治元年(1864年)に完成し, その後は戊辰戦争の舞台ともなった.

・簿書番号: 0041「箱館奉行所 上役衆 主務者 箱館奉行所 モンヘツ御用所 安政三六年」(1856-1859)

文書番号: No.8「組頭安間純之進廻浦中 日程 モンヘツ御用所」(図4A). 以下, 活字化した.

一, ヲクリカンキリ

「ヲクリカンキリ」と書かれており, 当時の紋別地区の名称が分かる. なお, ここで出てくる主務者とは主として, その事務を取り扱う人である.

文書番号: No.25「安政四 織部巖 御廻浦中廉々記 モンヘツ御用所」(図4B). 以下, 活字化した.

一, ヲクリカンキリ此(不詳) 鷺羽鹿角モンヘツ

・簿書番号: 0041「村垣淡路守廻浦日記諸書付完 安政5戊午年6月 モンヘツ御用所」(1858

年6月)

文書番号: No.8「熊胆皮等産物類書上」(安政5, 5)(1858年5月)

「ヲクリカンキリ」と書かれており, 当時の紋別地区の名称が分かる. なお村垣淡路守とは文北10年(1813年)東京築地生れで箱館奉行を務めた. ロシアや蝦夷地の情報を集め, 遺米使節団の一人として世界一周に同行した人物である(青山, 1994; 小川, 2002).

・簿書番号: 00043「幕府 雑録 奉行所等御用状廉々控帳 安政五年」

文書番号: No.7「主務者 箱館奉行所 モンヘツ御用所 安政三六年」(1856-1859)「ソウヤ中到来御用状廉々控帳 安政5年午正月 モンヘツ御用所 安政5年1月より9月まで到来状控」(1858年)

「ヲクリカンキリ」の記述が見え, 当時の当該場所での呼び名が判明した(図5). 以下, 活字化した.

図5A

一, ヲクリカンキリ 云々書付^{いつかん}巻^{まき}

図5B

十二月廿五日自書以ソウヤ江差立^{えさしたて}御用状如左^{ごようじようさのごとし}

- 一, 出稼土人御届場之書付 一巻^{しよじようもつてせいじようつかまつりそろうしよつかれば}
- 一, 以書状啓上仕候然者十一月納ニ付云々
- 一, ヲクリカンキリ目方云々,
- 一, 金貳百疋 五左衛門 小三郎分云々
- 一, 金貳百疋 巳正月ヨリ同十二月迄云々 同才足(催促?)書付

図5C

- 一, 去巳冬御切米云々書付 一枚^{きさきのふゆおきりまい}
- 一, ヲクリカンキリ書付^{いつかん}巻^{まき}
- 一, 鈴木鋠太朗儀調役下役云々同^{ざしらべやくしたやく}

図5D

- 役役春御借米御扶持方云々 同
- 一, ヲクリカンキリ云々書類 同
- 一, 熊運送手当之云々 同

図5E

午ノ正月廿三日付ヲ以同二十三日到来
御用状左之通り

- 一、去巳冬御切米 云々書付 一枚
- 一、ヲクリカンキリ云々書付 巻綴

・簿書番号：CA00043/12170「御用状廉々控帳
安政五年 モンヘツ御用所」

文書番号：No.7「安政5年1月より9月まで到来状
控一差立御用状留帳 継送御用状 安政3 丙
辰年従7月 御用取調所一」（1858年と1856年）

図5F

三月九日相達
二月廿五日附同晦日付にて式通
到来之御用状左之通

- 一、エサシ二月十二日附御用状云々 巻綴
- 一、役役春御借米御扶持方. 云々 同
- 一、ヲクリカンキリ云々書類 同

「ヲクリカンキリ」の記述が見え、当時の当
該場所での呼び名が判明した。

・簿書番号：F1-799「御用留 安政五午年 箱
館奉行所 自主御用所」（市立函館図書館所蔵
；安政4～5、1857～1858）
（図6）以下、活字化した。

追加 覚

- 一、オクリカンキリ
- 一、葉艸類
「覚」の部分に「ヲクリカンキリ」と書かれ
ており、当時の名称が分かる。

・簿書番号：F1/801「安政五戊午年ノ午正月三
到来 宗谷諸達留 箱館奉行所モンヘツ御用
所」（市立函館図書館所属：安政4～5、1857～
1858）。以下、活字化した。

図7A

- 一、ヲクリカンキリ調査役筆墨料
書付雇土人届書等落手以多し候

図7B

- 一、十一月十一日より同一八日迄之御沙汰書一

綴

- 一、ヲクリカンキリ之義に付御評議濟書其外と
も式綴
「ヲクリカンキリ」の名称が見られる。

・簿書番号：5498「開拓使公文録 明治五年
外事之部 外事 航海 器具購入 外客雇用
博覧会」

文書番号No.125「十一月廿三四日 澳地利国稚納
府博覧会ニ付北海道産物取り調之件」

公文録とは明治政府が公文式（明治政府の法
令の制定手続きと公布に関する規定）に発行し
た文書原本をまとめたものである。開拓使とは
北方開拓のため明治2年（1968年）から明治15年
（1882年）まで北海道に置かれた日本の官庁で、
設置の主な目的は北方の開拓とロシアの脅威へ
の対抗であった（田端ら、2003）。その本庁は札
幌に置かれ、東京には開拓使東京出張所が設置
された（図8）。以下、活字化した。

ジャリガニ

・簿書番号：A4/434「明治六年部類抄録廿五
物産 開拓使[札幌本庁庶務局編輯課]」（明治
6年、1873）（図9）。以下、活字化した。

魷ウグイ 沙喫ナマコ キナボ方言
鱈ドゼウ サリガニヲクリカンキリ 鱈白魚打
鱈ニシン

カズノコ

海參イリコ 紅鱈ベニマス 鮫魚サメ
潜龍沙魚テツサメ カタツ 干カ
赤魚 鮪シビ 帆立貝
此目魚カレイ ハリセンボン 石決明アワビ
車渠ホタテガイ 蛸進アサリ 海膽ガゼ、ウ
ニ

ホッキカイ方言 イカイ 牡蠣カキ
チライ ムイ介 ホヤ
海ヤナギ カニイシ ジャリガニ「サリガニ」
ト

同物ニテハ

ナキヤ

魚介兼海産植物ノ部で「昆布 コンブ」と並
んで「サリガニ オクリカンキリ」「ジャリガニ
「サリガニ」ト同物ニテハトキヤ」の記述が見

られ、当時は函館地方を代表する物産品であったと分かり、その名称「サリガニ」「オクリカンキリ」「ジャリガニ」も分かる。

・簿書番号：02380「北海道諸物産品往復書及諸
県通信書類 仮博物係」（明治7, 8, 9, 10年）
文書番号：No.36「京都府下博物館開場ニ付出品
物ノ義花金勞外六点同府ヨリ依頼ノ件」「差出
人 京都府 宛名 開拓判官」「同上ノ義ニ付
花金勞他六点府下博物館出品相成落手ノ証
明治八年四月七日」（図10）。

以下、活字化した。

一、^{うづ}蠣姑

・簿書番号：6098「開拓使公文録 勸業 雑
明治十一年」（1875）
文書番号：No.12「支那貿易施行ニ付當道産見本
東京へ差回ノ件」「明治八年三月八日 支那防
疫一層盛大ヲ期シ北海産品見本差回方ノ件
差出 本庁 物産局 宛名 東西各郡出張所
同上ノ義ニ付回達」（明治8年, 1875）（図12）。

以下、活字化した。

一、サルカニ 静内 一、^{しやこたんらく}積丹竹積丹

「サルカニ 静内」の記述が見られる。開拓
使の公文書であり、文書の標題から推察すると
明治初期の開拓使は当時の中国へニホンザリガ
ニを輸出するため更なる奨励を各部署に出して
いたことが伺え、本種は当時の北海道における
中国への重要な輸出品であったことが想像でき
る。

内国勸業博覧会とは明治10年（1877）から始
まり5回に渡り行なわれ、第一回目は東京上野公
園で行なわれ入場者数は454,168人であった（國,
2005）。これは西南戦争開戦中であり、これは日
本が参加した1873年のウィーン万国博覧会を参
考に書第内務卿大久保利通が推し進めた（吉見,
2008）。「博覧会」と銘打ったものは通常、名宝
や珍品の陳列と観覧が中心となるが、ここでは
「勸業」を冠しており、目的は欧米からの技術
と在来技術の融合させた産業奨励会の面を強調
している（吉田, 1985）。会場には美術本館、農
業館、機械館、園芸館、動物館があり、全国か
ら出品物が集められ、これらは6部（鉱業及び冶
金術、製造物、美術、機械、農業、園芸）に分

類され、素材、価値、価格などの基準で審査も
行なわれ、優秀策には賞碑・褒状等の授与があ
り、物品調査と産業奨励の2面があった。第一回
内国産業博覧会は日本の産業振興に大きな影響
を与え以降の博覧会の原型となった。

第4回内国勸業博覧会は明治28年（1895）4月1
日～7月31日まで京都市岡崎公園で行われ、1,13
6,695人を集めた。これは博覧会開催が利益を生
むことが周知されたおり、東京遷都以降の低迷
を活性化させたい意向を持つ京都が開催地に決
まった。1894年には日清戦争が勃発して戦争の
最中であったが政府は殖産興業政策の重要性か
ら博覧会は開催された。建物には美術館、工業
館、農林館、機械館、水産館、動物館が主要で
あり、水産館の前には水産室が敷設された。こ
れは今日の水族館であり、淡水魚に限られたが
展示が行なわれた。その特徴として従来は淡水
の魚は水面上から眺めるものであったが、側面
から見るので、これまでとは異なるものであ
った。

・簿書番号：6143「明治八九年 開拓使公文録
勸業 会計 札幌本廳」（1875～1876）

文書番号：No.11「京都勸業博覧会～北海道物産
出品ノ件 出品ノ義ニ付懇願 差出人 博覧
会社 庶務幹事 細辻伊兵衛 他一名 宛先
京都府知事 長谷信篤」（明治8年1月14日, 18
75）（図13）。以下、活字化した。

蠣姑 和名ザリガニ 同形ノモノ式三個

・簿書番号：02385「内国勸業博覧会書類 諸目
録類 明治九十月 開拓使 東京出張所 勸
業課 第一回内国勸業博覧会出品取扱係」（明
治9～10年, 1876～1877）

文書番号：No.9「内国勸業博覧会出品各分署ニ於
テ蒐集概略調書 内国勸業博覧会事務取扱」
（図11, 14）。以下、活字化した。

図11

舍利蟹 日高 全 全 金 全
十勝内

図14

一、オクリカンキリ サルカニノ玉 水気葉

- ・簿書番号：2384「第一回内国勸業博覧会書類 参 出品取扱係 明治十年從十月至十二月 公文册ノ 出品取扱係」(1877)

文書番号：No.45「列品譲受備品ニスル件 同上ノ義ニ付伺」(明治10年11月27日)「差出人 博覧会 出品取扱 宛名 書記官」(図15). 以下, 活字化した.

図15A

- 一, サリガニ 金八錢

図15B

- 一, 舍利蟹 金八錢

簿書番号：2388「第二回内国勸業博覧会出品目録」「主務者名 開拓使 東京出張所 第二回勸業博覧会委員 明治十四年」(1877~1881)

文書番号：無し「内国博覧会 出品街目録 開拓使」(図16). 以下, 活字化した.

図16A

- 一, 舍利蟹 壺瓶 百尾 アルコール漬 渡島国亀田郡

図16B

- 一, 白乾鮑 三斤 天塩国(不詳) 留萌村

- 一, ヲクリカンキリ 壺瓶 三両目 渡島国亀田郡

図16C

- 一, 猿蟹 火酒漬 二瓶 渡島国亀田郡 鍛冶村湯ノ沢

- ・簿書番号：02387「博覧会出品目録 明治十年 開拓使 東京出張所 勸業課 第一回勸業博覧会出品取扱係」(明治10年, 1877)(図17). 以下, 活字化した.

図17A

- 一, 册八 舍利蟹 アルコール漬 百尾
- 一, 册九 同 同 二瓶 日高国幌泉郡 サルル村

図17B

- 一, 舍利蟹 壺瓶 百尾 アルコール漬 渡島国亀田郡

「舍利蟹 アルコール漬 百尾 二瓶 日高国幌泉郡サルル」と書かれており, 当時の名称が分かり, 大量の個体が採集されて瓶に入れてアルコール漬けにされ運ばれていたことも読取れる.(一冊の本となり文書番号無し)

- ・簿書番号：3349「独逸国伯林府漁業博覧会出品採集書類三 共三冊 明治十二年十月 勸業係」(1879年)(図18). 以下, 活字化した.

図18A

アリ之ヲヲクリカンキリト云フ

図18B

- 一, サルカニ 山近キ川ノ湿気アル涸沢ト雖トモ岩石ノ間ニ潜居ス人手ヲ以テ取ル燠蒸シテ食用トス

図18C

- 一, サル蟹 川ニテ拾ヒ取り食用ニ供ス四五月頃玉

図18D

沢蟹 渡島国上磯野辺地村古川ニ棲ム或ハ泥水ニ生スルモアリ 其形チ蝦ニ類シテ髯ナク缺ノ如キ雙手アリ 常ニ之ヲ以テ食物ヲ搜シ取ル 甲中ニ白玉二個アリ(即ヲクリカンキリ) 薬品トナル又其肉煮沸シテ食シ其生ナルハ体色暗黒ナリ 煮灸セバ赤色ト変ジ余ノ効能ハ未詳

図18E

猿蟹 一名オクリカンキリ 是ハ同所産一ヶ年収穫大凡五万顆位 川溝ニ住ム水上ヨリ味噌灑キ流セバ群集ス此時手ヲ以テ拾ヒ取ル 期節年中此蟹頭部ニ白キ玉アリ米粒ノ如シ芒種ヨリ夏至ノ間右玉アリ孕産不詳

図18F

第七号 同月同日
方名 サルガニ
食用ニ供シテ美

図18G

乙第一号 温干
サルガニ 甲第七号ニ証ス

図18H

一, サリ蟹 六銭 五

図18I

一, サリ蟹 二十四銭 八

図18J

一, サル蟹 五疋
代価金四銭 但前同断

図18K

一, サル蟹 四十三個
老個ニ付金老銭

図18L

一, サル蟹サルガニ四顆
代価金拾銭 老顆ニ付二銭五リン

図18M

一, サリカニ 老ツ
代価金弍厘

図18N

一, サル蟹 六句
此代価六リ

図18O

一, サルカニ
代価老銭

図18P

一, サルカニ 弍足
代価金老厘

880) 4月にドイツのベルリン市で開催された大規模の国際漁業博覧会であり、開拓使はこれを「本使将来有益ヲ計スルノ一端」ととらえ、魚の剥製から加工工場の模型に至るまで多種多様な出品物400点を、北海道内のすべての国から収集した(本田, 2003)。また公使を通じて日本の(当時)勸業局と開拓使に出品の請求があり、ドイツの皇太子の許認を受け河海の産物と漁具を蒐集し、展示に供した(外務省ホームページ, 2012年現在)。このときの標本の出品目録と解説書は函館市中央図書館に、液漬けの標本はベルリンのフンボルト大学自然史博物館に保管されている(川井, 2001)。

・簿書番号: 3350「独逸国伯林府漁業博覧会出品目録及解説書ニ共三冊 明治十二年十月 開拓使 勸業係」(1879年)(図19)。以下、活字化した。

図19A

一, 舍利蟹 同
産地 渡島国太櫓郡川村榎学 不詳
所聞炎燃シテ食スベシ

図19B

五十七号
一, フクリカンキリ 真珠 ニ 福山

図19C

六十八号 いちぼんど 老磅入
一, 砂利蟹 ジャリガニ 四十 同

図19D

六十九号
一, サルカニ ニ 福島

図19E

第二百五十九号じやりがに砂利蟹同 同 同 (以下不詳)
ズリガニ 蛸 蛸
カベツルガニ 蛸 蛸石

該種は河流ニ産スルモノニシテ四季採集シテ食スヘクマタ頭部ニ存在スル石ヲ蛸蛸石ト称シテ薬用ニ供ス

「独逸国伯林府漁業博覧会」とは明治13年(1

- ・簿書番号：3682「伯林府漁業博覧会関係書類
明治十二年」「主務者 開拓使 根室支庁 民
事課」「勸業課」(1879年)

図22B
六十九号
一, サルカニ ニ

文書番号：No.13 (図20). 以下, 活字化した.
火酒漬之部

図22C
蛸^{タコ} 同 同 石狩国札幌
蛸^{タコ}石薬用 同 同 同

第壹号
蛸^{タコ} 釧路国全郡米町小川ニ産ス年齢不詳
老疋量目式九分 左右十手先缺 腰七節
尾五枚毛アリ 手先缺赤色 腹緑黒色
五十疋量目六十壹匁

図22D
蛸^{タコ} 全体ノ俣 全 全 全 石狩国札幌
蛸^{タコ} 石ノミ 全 薬用 全 全

第貳号

蛸^{タコ} 釧路国厚岸郡湾月町裏濱江寄年ル齡不
詳

図22E
六十八号
一, 砂利蟹^{シヤリカニ} 四十 全

老疋量目不明 左右十手先毛アリ 大ナル手式
先缺ノゴトシ 腰七節 尾五枚アリ 全身黒赤
色

図22F
蛸^{タコ} 同 同
蛸^{タコ}石 薬用 同 同

- ・簿書番号：3738「伯林府博覧会綴 出品取調
明治二十三年」「主務者 開拓使東京出張所
農業試験場 旧仮博物館 明治十二 十四年」
(1879~1881)

図22G
ヲクリカンキリ真珠 同 式

文書番号：No.74 (図21). 以下, 活字化した.

図22H
第二百八十一号 ヲクリカンキリ真珠 同 式
渡島国福山
第二百八十二号 蛸^{タコ}石 同 壹 石狩国札幌

図21A

第七項
第三百十六号 蛸^{タコ}蟹^{カニ} 乾製^{イツゼ} 壹筐 石狩国札幌
第三百十七号 砂利蟹^{シヤリカニ} 火酒漬 壹瓶 (一ポン
ド入)

図22I
蛸^{タコ}石 同 三 石狩国札幌
蛸^{タコ}蟹^{カニ} 同 二 同 金壹円三十銭

図21B

第貳百六号 蛸^{タコ}石 同 三 石狩国札幌
第貳百七号 蛸^{タコ}蟹^{カニ} 同 二 同 七円三拾銭

以上の記述が見られ, 当時の名称の他, 全体
は食用として利用されオクリカンキリ (すなわ
ち彼らの体内で結成される胃石) に関しては薬
用として利用されていたことが分かる.

- ・簿書番号：03741「伯林博覧会 十二年 開拓
使 東京出張所 勸業課 伯林博覧会係」(明
治12年, 1879) (図22). 以下, 活字化した.

・簿書番号5123:「第二回内国勸業博覧会出品目
録」「主務者 開拓使 東京出張所 第二回内
国勸業博覧会委員会 明治十四年」(1881) (図
23). 以下, 活字化した.

図22A

六十八号 全
一, 砂利蟹^{シヤリカニ} 四十 全

卅八 舍利蟹 同 同 鍛冶村
アルコール漬 百瓦

- ・簿書番号：5184「明治十五年二月水産博覧会種類 委員」
文書番号：No.8「水産博覧会開設ノ義ニ付出品ノ件」(図24). 以下, 活字化した.

第八条 材名は勉て其地普通の名称を假名にて記すへす
但し漢字を用るときは必ず傍訓を施すへし

勉めて地域の名称を使うように書かれている。そのため博覧会の標本等に添付してあった名称は、当時、当地区の一般的な名称であったと分かる。

水産博覧会とは、明治時代初期における水産振興策の一つであり、第一回水産博覧会は明治16年(1883)3月から6月におよび、東京上野公園で開催された。全国からの出品数は1万4581点となり、天皇陛下も行幸し、来館者は約23万人という盛大なものであった。この博覧会の目的は漁業技術発展の地域差の実態を把握し、先進地域の優良技術を広く取り上げて、他の地域に普及するものであった。また水産製造の部門では製造技術の開発指導の他に、その市場開拓の意味もあったと思われる(外務省HPから引用)。

- ・簿書番号：9790「札幌県治類典 医事取締合四冊乙ノ第一 製薬・売薬・薬品・人体解剖・鉱泉 明治十八年自一月至十二月」主務者名：札幌県衛生課 年次：明治18(1885)
文書番号：No.29(図25). 以下, 活字化した.

一、降気散 壹服量目
檳榔子 壹匁 紫蘇子 五分
ヲクリ
カンキリ三分 唐木瓜 五分
唐呉茱萸 式分 生姜 三分
抹茶 式分

「小樽, 三浦忠五郎 全上の件」, 「売薬免許」の項目で「降気散」という薬の成分の一つに「ヲクリカンキリ」の文字が見える。このことから1885年当時の小樽でニホンザリガニが薬用として販売するに当たって免許が関係したことが推察される。

- ・簿書番号：4469「雑書」
文書番号No.6868「大蔵省記録局埋蔵参考ノ為著名物産取調方紹介越ノ件(明治18, 23) 差出記録局長 遠藤勤助 宛名 開拓使書記官」(図26). 以下, 活字化した.

蠅 蛄 胆振 虻田郡

- ・簿書番号：7189「開拓使事業報告書 乾 函館支所」主務者 大蔵省 開拓使会計 残務整理委員会(明治一年~)(1868~)
文書番号：No.14「函館支庁管下物産種目表」(図27). 以下, 活字化した.

蟲 蟹 シャリカニ 辣蛄石

考察

安政5年~明治18年(1856~1885年)にかけて、御用留や開拓使公文録等の行政機関による公文書にはニホンザリガニに関する情報が頻出しており、その名称は漢字、カタカナ、漢字とカタカナが混在の表現方法があった。漢字としては「蠅蛄」「猿蟹」「砂利蟹」「沢蟹」「舍利蟹」「蠅(女偏に古い)」で、カタカナとしては、「ヲクリカンキリ」「ジャリガニ」「ザリカニ」「サルカニ」「ザリガニ」で、漢字とカタカナの混合としては「サル蟹」「サリ蟹」があった。このことから多様な呼び名があったことが確かめられた。なお、過去の研究(Kawai & Fitzpatrick, 2004; 川井・白濱, 2011)を参考にすると、ここでのヲクリカンキリは体内で形成される胃石のことを指していると考えられる。そして、ザリガニの本体自体と胃石を明確に区別している史料(簿書番号F1-799)も見られている(図6)。

本種や、その胃石は当時薬用とされていたことが改めて確かめられ、「オクリカンキリ サルカニノ玉 水気薬」(簿書番号2385)(図12)の表現がある。

以上のことから、ニホンザリガニや本種の胃石は行政機関の公文書に頻繁に出現していたことが確かめられ、北海道の重要な産物であったことが確かめられる。

謝辞

調査への理解と協力を賜った北海道立文書館、北海道立図書館に深謝します。

引用文献

青山英幸, 1994; 箱館奉行文書について一簿冊についての覚書一. 北海道立文書館研究紀要, 9: 24-94.

本田優子, 2003; 近代北海道におけるアットウシ産出の様相を解明するための予備的考察—開拓使の統計資料の整理と分析を中心に—. 北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要, 9: 35-79.

川井唯史, 2001; 明治時代におけるニホンザリガニの利用と漢字表記. 青森自然誌研究, 6: 11-15.

Kawai, t., & J. F. Fitzpatrick, Jr., 2004; Redescription of *Cambaroides japonicus* (De Haan, 1841) (Crustacea: Decapoda: Cambaridae) with allocation of a type locality and month of collection of types. Proceedings of the Biological Society of Washington, 117: 23-34.

Kawai, T., & V. S. Labay, 2011; Supplemental information on the taxonomy, synonymy, and distribution of *Cambaroides japonicus* (Decapoda: Cambaridae). New frontiers in Crustacean Biology, 1: 275-284.

川井唯史・白濱和彦, 2008; ニホンザリガニの博物学的知見Ⅱ. 小樽市総合博物館紀要, 22: 9-20.

川井唯史・白濱和彦, 2011; ニホンザリガニの博物学的知見Ⅲ. 浦幌町立博物館紀要, 11: 19-35.

小川昭一郎, 2002; 北海道立図書館所蔵モンベツ御用所翻刻集. 道都大学小川研究室(発行), 紋別市.

國雄行, 2005; 博覧会の時代: 明治政府の博覧会政策. 岩田書店, 東京都.

田端宏・桑原真人・船津功・関口明, 2003. 北海道の歴史. 山川出版社, 東京都.

吉田光邦, 1985; 万国博覧会: 技術文明史的に. 日本放送出版協会, 東京都.

吉見俊哉, 2008; 都市のドラマトウルギー: 東京・盛り場の社会史. 河出書房新社, 東京都. 外務省: 外交史料館 日本外交文書デジタルアーカイブ 第13巻 (明治13年/1880年)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/archives/13.html>

Information on the natural history of the Japanese freshwater crayfish, "*Cambaroides japonicus*", in Japan VI. -Information from archives-

KAWAI Tadashi* and SHIRAHAMA Kazuhiko***

*Wakkanai Fisheries Institute, Suehiro 4-5-15, Wakkanai, Hokkaido 097-0001, Japan. E-mail:kawai-tadashi@hro.or.jp

***1-306 Asarigawa Onsen, Otaru, 047-0154 Hokkaido, Japan

図の説明

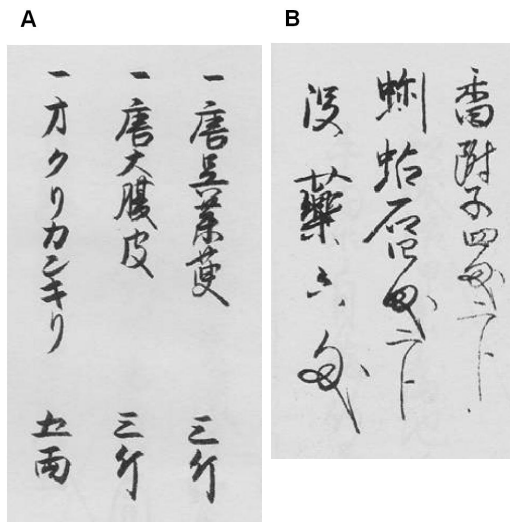


図1. 簿書番号：A00028/12155 (00028)
 「在住御屋御用所 安政四丁巳年六月より 自主御用所」(1859年)

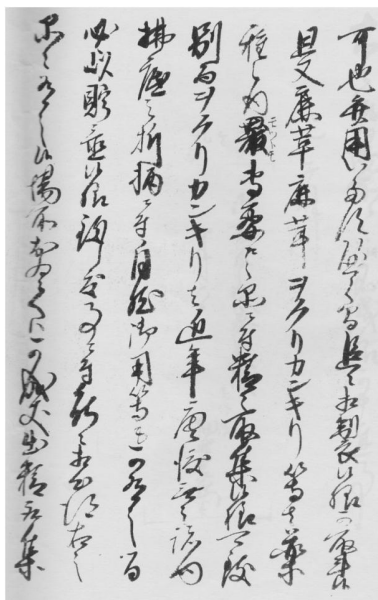


図3. 簿書番号：00014
 「蝦夷地 御用留 三 御用所 安政四丁巳年五月 御用所 紋別御用所 箱館奉行所」

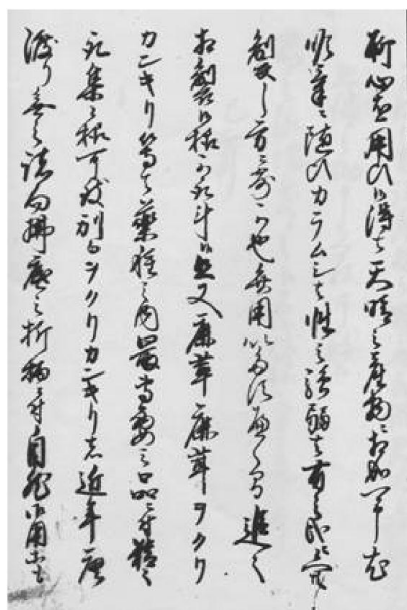


図2. 簿書番号：F1/1048
 「御用留 安政四巳年三月箱館奉行所 蝦夷地掛」安政3~4 (1856~1857) 原本所蔵 札幌学院大学

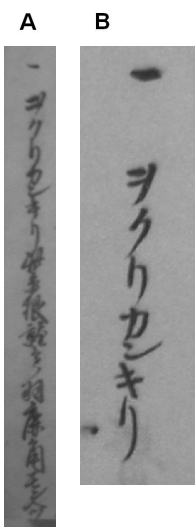


図4. 簿書番号：0041
 「箱館奉行所 上役衆 主務者 箱館奉行所 モンヘツ御用所 安政三六年」(1856-1859) 簿書番号：0041
 「村垣淡路守廻浦日記諸書付 完 安政5戊午年6月 モンヘツ御用所」(1858年6月)

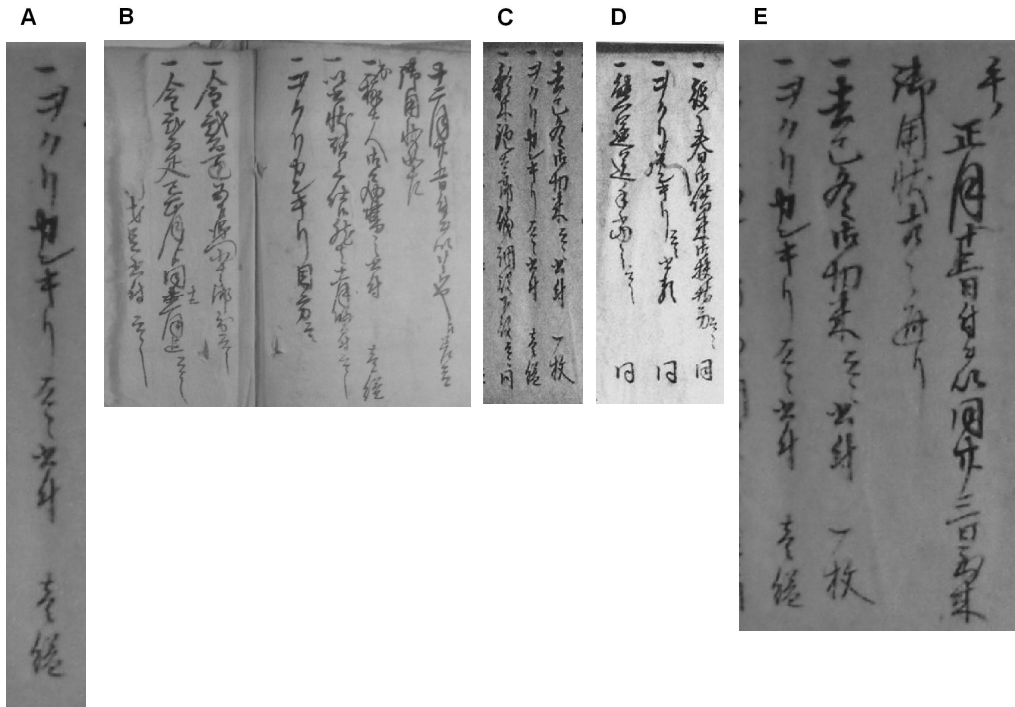


図5-1. 簿書番号：00043
「幕府 雑録 奉行所等御用状廉々控帳 安政五年」

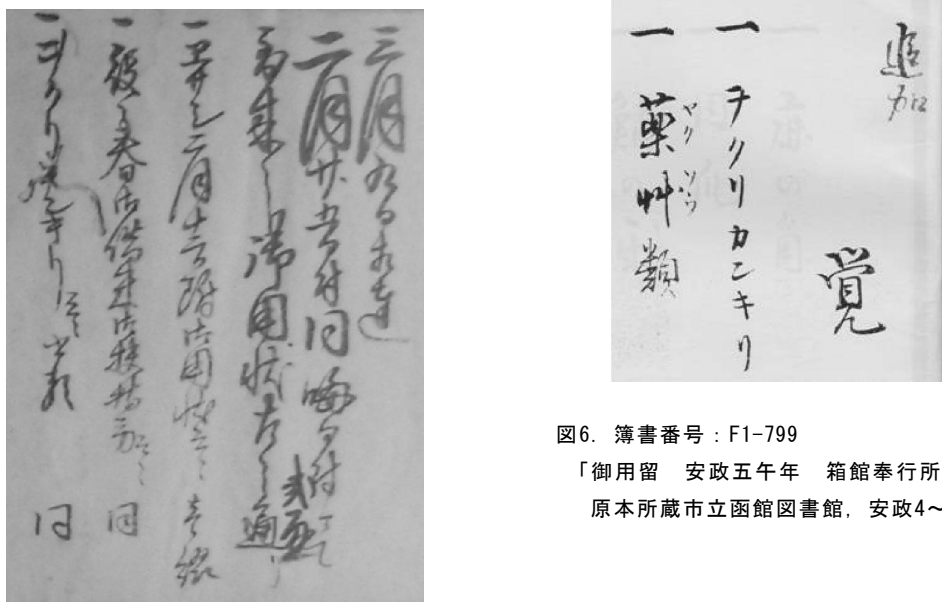


図6. 簿書番号：F1-799
「御用留 安政五年 箱館奉行所 白主御用所」
原本所蔵市立函館図書館，安政4～5，1857～1858

図5-2. 簿書番号：CA00043/12170
「御用状廉々控帳 安政五年 モンヘツ御用所」

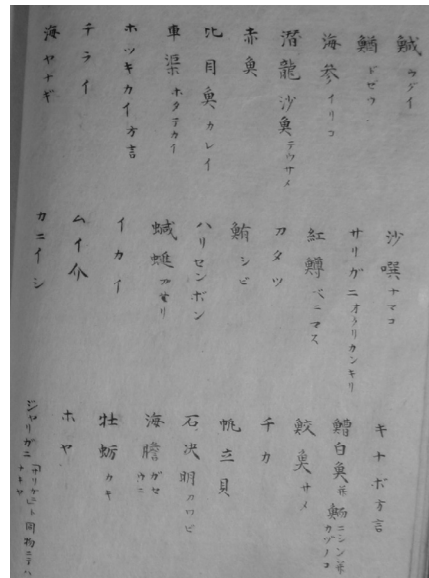
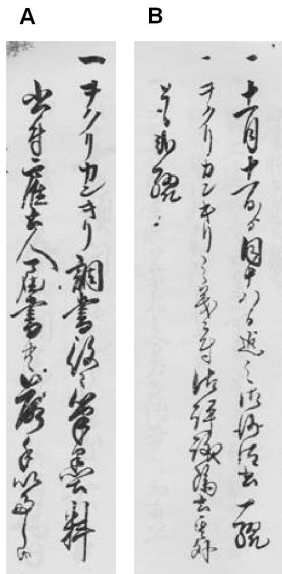


図7. 簿書番号 : F1/801

「安政五戊午年／午正月三到来 宗谷諸達留 箱館奉行所モンヘツ御用所」
 原本所蔵市立函館図書館，安政4～5，1857～1858

図9. 簿書番号 : A4/434

「明治六年部類抄録廿五 物産 開拓使〔札幌本庁庶務局編輯課〕」(明治6年, 1873)

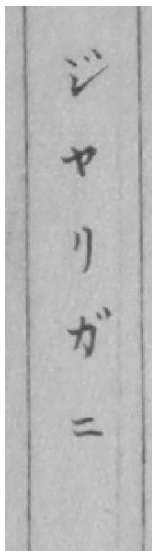


図8. 簿書番号 : 5498

「開拓使公文録 明治五年 外事之部 外事 航海 器具購入 外客雇用 博覧会」

図10. 簿書番号 : 02380

「北海道諸物産品往復書及諸県通信書類 仮博物係」(明治7, 8, 9, 10年)



図11. 簿書番号 : 02385

「内国勸業博覧会書類 諸目録類 明治九十月 開拓使 東京出張所 勸業課 第一回内国勸業博覧会出品取扱係」(明治9~10年, 1876~1877)

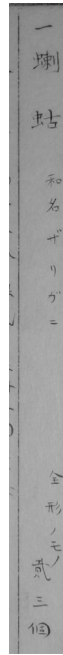


図13. 簿書番号 : 6143

「明治八九年 開拓使公文録 勸業会計 札幌本廳」(1875~1876)

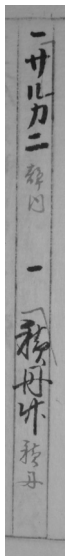


図12. 簿書番号 : 6098

「開拓使公文録 勸業 雑 明治十一年」(1875)

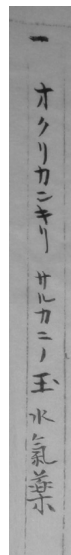


図14. 簿書番号 : 02385

「内国勸業博覧会書類 諸目録類 明治九十月 開拓使 東京出張所 勸業課 第一回内国勸業博覧会出品取扱係」(明治9~10年, 1876~1877)

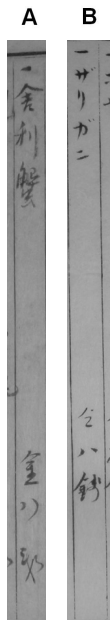


図15. 簿書番号：2384

「第一回内国勸業博覧会書類 参 出品取扱係 明治十年從十月至十二月 公文冊ノ出品取扱係」(1877)

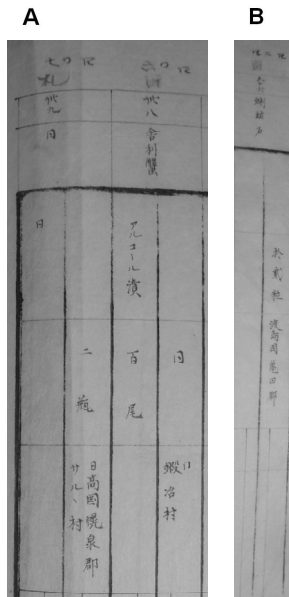


図17. 簿書番号：02387

「博覧会出品目録 明治十年 開拓使 東京出張所 勸業課 第一回勸業博覧会出品取扱係」(明治十年, 1877)

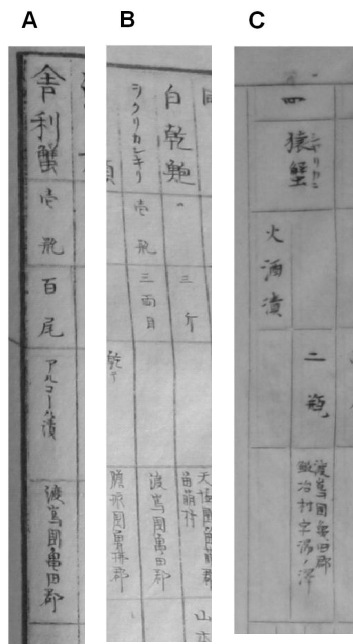


図16. 簿書番号：2388

「第二回内国勸業博覧会出品目録」主務者名 開拓使 東京出張所 第二回勸業博覧会委員 明治十四年」(1877~1881)

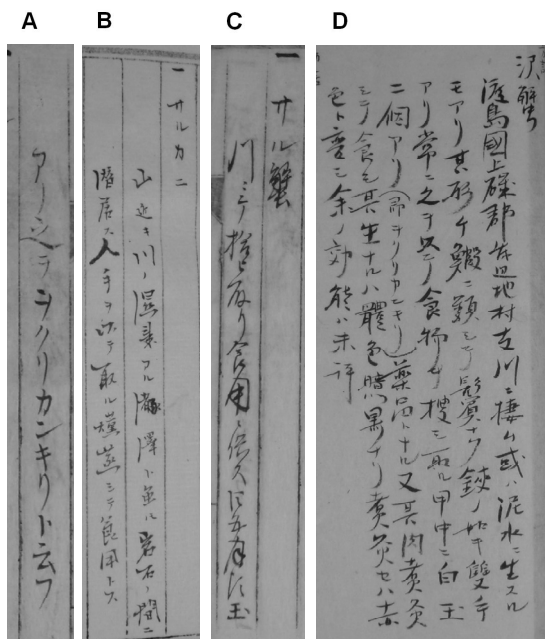


図18-1. 簿書番号：3349

「独逸国伯林府漁業博覧会出品採集書類三 共三冊 明治十二年十月 勸業係」(1879年)

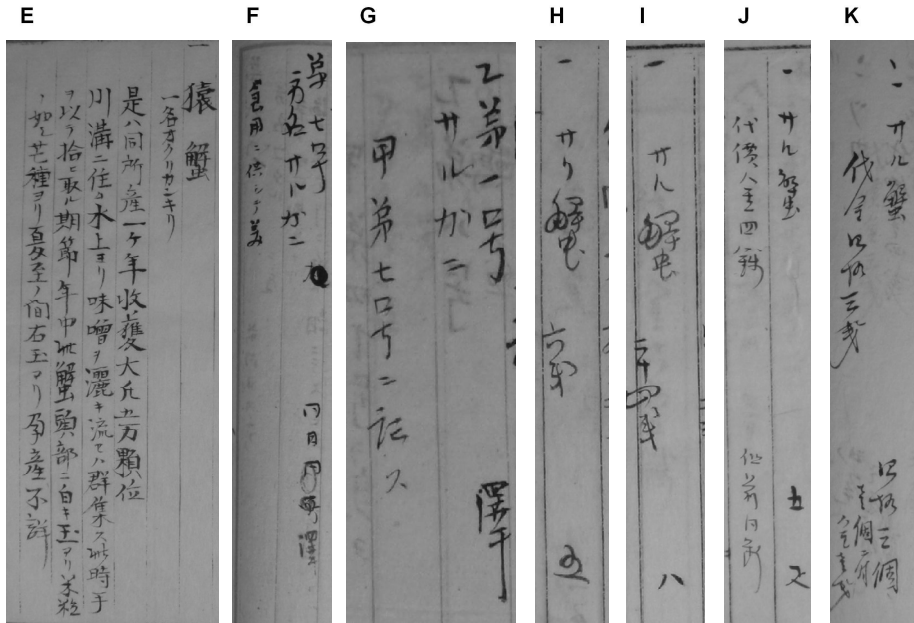


図18-2. 簿書番号：3349

「独逸国伯林府漁業博覧会出品採集書類三 共三冊 明治十二年十月 勸業係」(1879年)

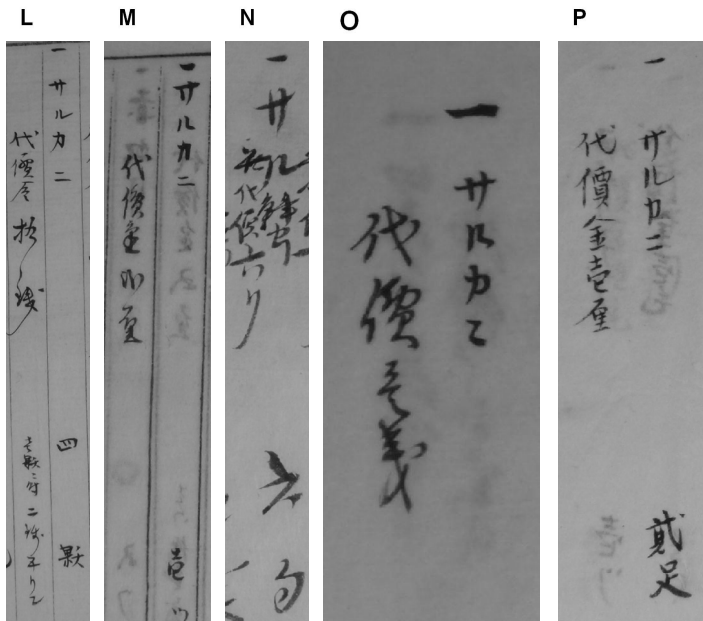


図18-3. 簿書番号：3349

「独逸国伯林府漁業博覧会出品採集書類三 共三冊 明治十二年十月 勸業係」(1879年)

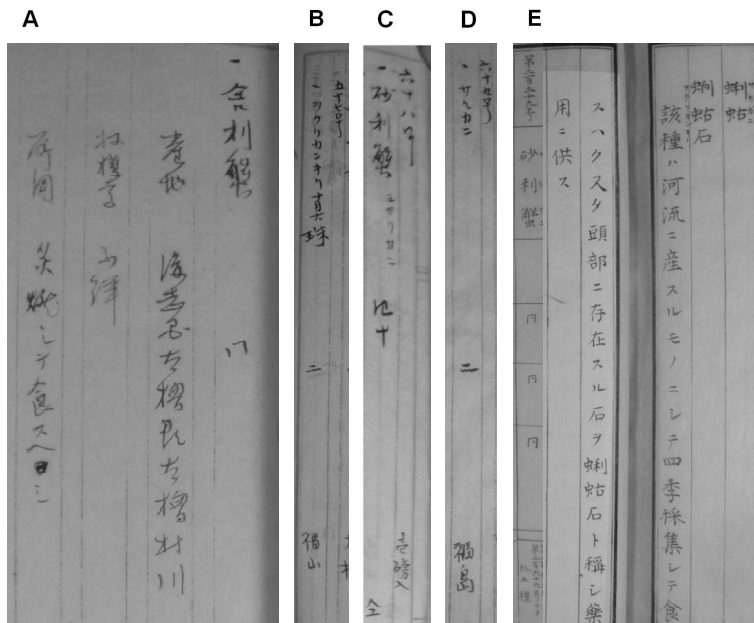


図19. 簿書番号：3350

「独逸国伯林府漁業博覧会出品目録及解説書 二 共三冊 明治十二年十月 開拓使 勸業係」(1879年)

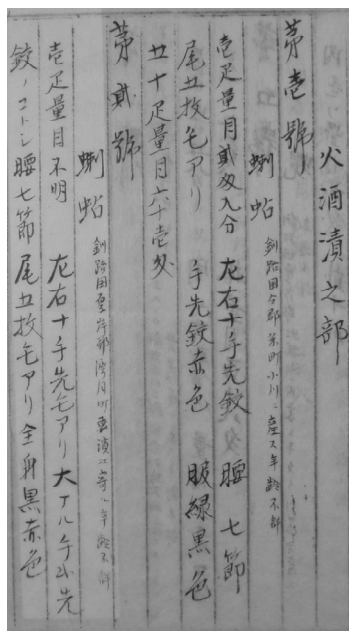


図20. 簿書番号：3682

「伯林府漁業博覧会関係書類 明治十二年」 「主務者 開拓使 根室支庁 民事課」 「勸業課」 (1879年)

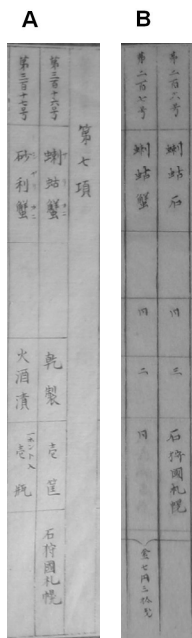


図21. 簿書番号：3738

「伯林府博覧会綴 出品取調 明治十二三年」 「主務者 開拓使東京出張所 農業 試験場 旧仮博物館 明治十二 十四年」 (1879~1881)

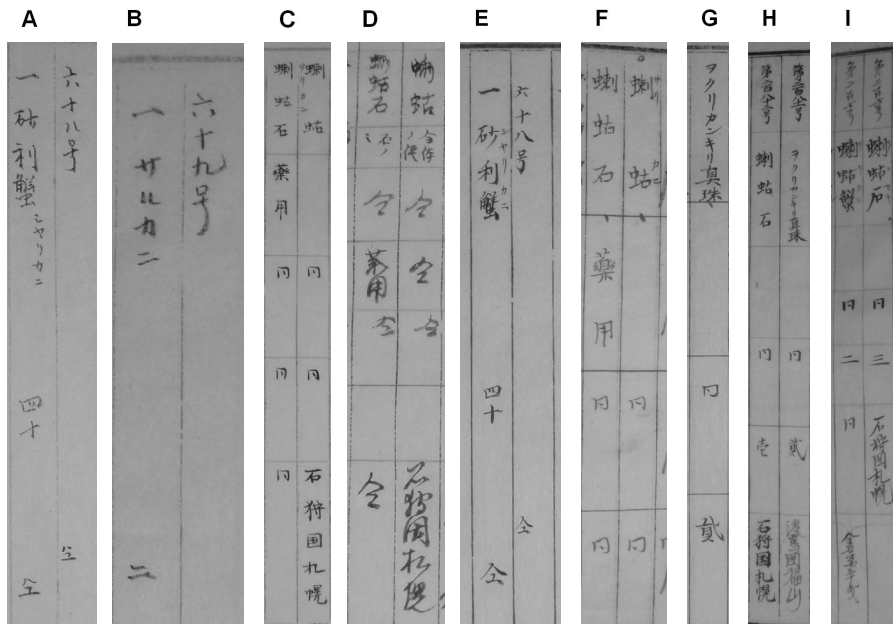


図22. 簿書番号：03741

「伯林博覧会 十二年 開拓使 東京出張所 勸業課 伯林博覧会係」(明治12年, 1879)

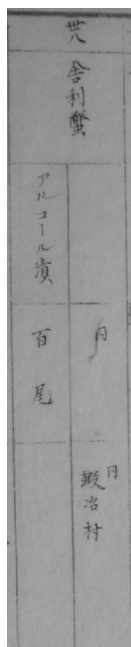


図23. 簿書番号：5123

「第二回内国勸業博覧会出品目録」主務者 開拓使 東京出張所 第二回内国勸業博覧会委員会
明治十四年」(1881)

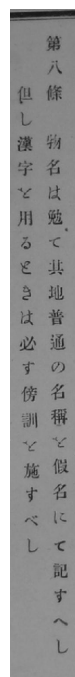


図24. 簿書番号：5184

「明治十五年二月水産博覧会種類 委員」

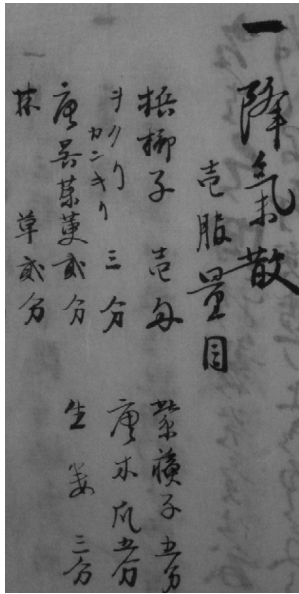


図25. 簿書番号：9790

「札幌県治類典 医事取締 合 四冊乙ノ第一 製
薬・売薬・薬品・人体解剖・鉱泉 明治十八年自
一月至十二月」



図27. 簿書番号：7189

「開拓使事業報告書 乾 函館支所」「主務者 大
蔵省 開拓使会計 残務整理委員会」(明治一年
～)(1868～)

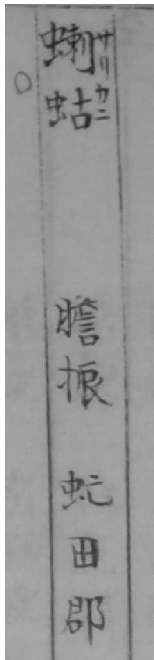


図26. 簿書番号：4469

「雑書」